



2011～2012年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2011～2012年度
国際ロータリー・テーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 二反田新一 幹事 若松 定生 会報担当 加来 敏男 クラブ広報委員長 川崎 潤

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1074回例会 平成24年6月14日(木)

●本日の例会プログラム 向笠元RI会長の歴史

◎次回例会プログラム 会長、幹事、
各委員会一年を振り返って



前回(1073回例会)の記録

平成24年6月7日(木)

■ゲスト

なし

■出席報告

会 員 数 23名
免 除 者 数 2名
対 象 者 数 21名
本日出席者 14名
欠 席 者 数 7名
出 席 率 66.67%

■ビジター

出利葉康博君、
山本洋一郎君(中津RC)

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 5名
メイクアップ 3名
欠 席 者 2名
修正出席率 76.19%→ **90.48%**

●メイクアップ

仲本会員、土居会員(IM)
若松会員(中津中央RC)

●欠席者

長野(修)会員、川崎会員

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 会長 二反田新一

先の日曜日には大分第一分区IMが開催されました。川島ガバナー補佐の病院ホールにて、外交ジャーナリストの手嶋龍一さんの講演会の後、ガバナー補佐自宅でガーデンパーティも開かれて、牛タン、牡蠣、ホタテ等々、塩釜から直送されたおいしい東北の味覚を堪能させていただきました。講演者の手嶋さんも最後までいらっしやって、直接お話をする貴重な体験もさせていただきました。

さて、今日は「本当は怖い漢字の成り立ち」のお話をします。文字には表音文字と表意文字がありますが、世界中には様々な文字がありますが、現在では漢字が唯一の表意文字であります。漢字のルーツは象形文字です。取るという漢字は耳と又からなります。又は手を表します。古代中国では、討ち取った敵の耳を切り戦いの功績



を数えたことから、取の字ができました。趣味の趣の漢字は、その取るに走るが加わってます。敵国の兵士を殺し、耳を刃物で切り落として持ち帰るという意味です。道は、首を埋めていった地面の意味があるそうです。

民主主義、人民、国民などで使われる民の字はそもそも、両目をつかれ見えなくなってしまった奴隷の様を表しており、戦争に負け奴隷となってつかえた人々が逃げられないように両目をつかれていたことが起源とされています。多くの民衆がこういう状態で王に仕えていたことから「民」という字ができたと言われています。皮肉にも民の語源は現在社会にも相変わらず通用しているように私には思えます。

政治家、官僚など行政を行う側(為政者)にとっては、国民は無知であるほうが仕事はやり易く、民衆が下手に賢くなってしまうと国や地域を治めることが困難になってくると考える人は今も少なくないようです。事実最近のリビア、エジプト、現在のシリアなどこれに当てはま



2011～2012年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2011～2012年度

国際ロータリー・テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

と思いますが、日本も例外ではないように思います。

民主党政権のモットーは「国民の生活が第一」です。また、「国民の声に素直に耳を傾ける」との言い回しもよく耳にします。その結果「何も決められない政治」などと揶揄されるようになりました。行政側が円滑に仕事を遂行させる為には、民の目に針を刺すのが一番簡単な方法です。言い換えれば、情報を与えない事です。原発事故にともなう瓦礫の広域処理に関して、私は二つの疑問がありました。①高い運賃、ガソリン代を使って遠方まで持って行って焼却処理するのか？現地に巨大処理施設を作る方が地元の経済にも役立つのでは？②安全が保障されているのに瓦礫の地元処理を頑なに反対する人々がいるのはなぜか？

焼却灰になった時点で放射能が数百倍に濃縮されることを今まで私は知りませんでした。①の答えとして、東北現地に巨大施設を作ったとしても、その焼却炉は稼働すればするほど放射能が蓄積されて施設そのものが汚染物質に変わってしまうのではないのでしょうか。②の答えは、地元施設での焼却で放射能濃縮に過剰反応を示す人たちの声であると思います。このようなことはマスコミも詳しく説明してくれません。

原発は稼働時も休止時も炉の中に核燃料が存在する限り、その危険度は大きな差がない事も最近知りました。今日のニュースでは、東京都が東電の詳細な財務内容を株主総会で公開を要請しましたが、東電は頑なに拒否しています。

民の漢字の成り立ちから数千年たっても、どうも人間社会は変わっていないようです。

◎幹事報告 川崎副幹事代理

●例会変更 大分臨海RC、大分南RC、大分中央RC、大分1985RC、大分城西RC、竹田RC、日出RC

●幹事報告

- ・ロータリーの友6月号届く
- ・ロータリアン誌(英文)届く
- ・2014～15年度ガバナー・ノミニー広報者推薦について
- ・ガバナー月信6月号届く



◎ニコニコボックス 担当：奉仕プロジェクト委員会

【川崎会員】一昨日、結婚記念日でお花を頂きました。非常に有り難かったです。

【二反田会長】水、木、金、大阪で展示会をしています、何とか例会のために帰ってきました。疲れがたまっています。

【長野(修)会員】2週連続でお休みしましたが、韓国のポチョンで世界学生大会があり、選手を連れて行ってきました。6人中、女子が銀メダル、男子が銅メダルを取りました。

【仲本会員】卓話をします。

◎新入会員卓話 仲本 準司会員

今日は新入会員卓話という事で、私自身のけっこう自由で少々波乱な人生を送ってきた、生きざまと現、エイト創業のきっかけ等をお話しさせていただきます。

まずは私、中津工業高校の機械科を卒業し、広島県福山市にある大手製鉄会社に就職することになったのですが、2年わずかで退社したのです。

その理由は、大きな会社の組織の中で、自分の納得できる生き方が出来るだろうか？自分のやりたい事は本当にこれでいいのかと迷いはじめ、少し早い決断だったが思い切って方向転換を考えました。

それから建築に興味を持ち、地元に戻り再度、建築の勉強をし、自分は会社員として一生は無理と思ったのだから独立を考え、小さな会社で、社長の仕事が見え、直接指示してもらえる会社で勉強させていただくことにしました。

その2社は主に技術的な勉強をさせていただきました。結婚と同時期の27才からは、住宅営業の勉強を5年間ハウスメーカーで学び、技術と営業の両方の自信をつけて独立を31才の時思い立ちました。

ところが、地元建設会社を創業して間もない社長より共同経営の話があり、その会社も立ち上げと同時だったので、だいたい迷った末に一緒にやることにしました。自分の会社の気持ちで一生懸命頑張る業績も順調に伸びることが出来、会社も軌道に乗って来ました。

しかし、世間でよく共同経営は成り立たないと言われる通り、経営者が二人となると価値観の違い等が表れはじめ、6年間で自らの独立を思い立ち、平成8年4月より、現(株)エイトを創業することとなりました。

前会社の立ち上げよりの経験が活かしたことや、周囲の方々のご支援もずい分いただき、思った以上に順調な立ち上がりをする事となりました。

その時、助けていただいた周囲の方々のお陰でさらに私の気持ちも強いものになりました。感謝致します。その周囲の方々やお客様になっていただいた方、社員、協力業者の方々には必ず、恩返しをしなければならないと思っております。又、ユーザーさんのマイホームの長年のアフターフォローもやって行かなければならない義務があります。社員の幸せも実現させなければならないと思います。その為にはまずはエイトの存続、成長が条件となります。

まだまだきびしい経営環境が予想されますが、私、経営者としてチャレンジ精神を持ち続け、必ず世の中の役に立つ企業にしたいと思っております。皆様方のご指導、ご鞭撻とご支援をよろしくお願い致します。